

【総会議事録】

開催日時：2011年3月17日（木）15時00分～15時35分

開催場所：国立天文台三鷹キャンパスすばる棟大セミナー室

出席者の確認の結果、事前投票者（全て第1号議案と第2号議案に賛成）と委任状送付者を合わせた総数（会場参加者の重複は除く）は414名、会場参加は38名であり、両者を合わせた有効参加者総数は452名であった。従って定足数（正会員総数1,703名の5分の1=341名）を満たして総会が成立することを確認した。

議長は規約に則り岡村理事長が務めた。次に署名人として渡邊鉄哉氏、土居守氏が選出された。

議事に先立ち、岡村理事長より、東北関東大震災で被災された方々へのお見舞いが述べられた。続いて、年会担当理事、年会開催地理事をはじめ多くの方々の多大な努力で開催を目前に控えていた筑波大学における春季年会をやむをえず中止せざるをえなかったことが報告された。

続いて、理事長より各賞の受賞者のリストが紹介され、授賞は確定しているが、授賞式は次回の総会で行うことが報告された。

議事：

1. 竹田庶務理事が資料に基づき、2010年度事業報告書の説明を行った。（第1号議案）
2. 田代会計理事が資料に基づき、2010年度決算報告書の説明を行った。（第2号議案）
3. 牧島監事により、この事業並びに決算の両報告書が2011年1月19日の監査で正当と認められた旨の報告がなされた。
4. 第1号議案と第2号議案はいずれも会場参加者と事前投票者の賛成多数で承認された。

報告：

1. 日本学術会議物理学委員会IAU分科会の岡村委員長より、IAU関連の簡単な報告があった（IAUシンポジウム、今夏のチェンマイでのIAUアジア太平洋地域会議、来年の北京でのIAU総会、新規IAU会員推薦日程など）。
2. 岡村理事長より、学会の学生支援に対する方針を再検討すること、2年半後に迫った法人移行に際しての諸課題、特に従来の日本天文学会のやり方と大きく変わることになる、総会および評議員会について説明があった。

付記：

本総会は元々筑波大学での春季年会の際に開かれる予定であったが、今回の東北地方太平洋沖地震のために中止になり、国立天文台三鷹での代替開催が急遽決まったものである。地震の余波の混乱（停電、交通機関の乱れなど）もあり、遠方からの参加者は稀で、出席者はほとんどが国立天文台関係者や在京の会員であった。

2011年4月15日

議長：岡村定矩 印

署名人：渡邊鉄哉 印

署名人：土居 守 印